

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	言語聴覚士学科昼間部		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	コミュニケーション学		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	15 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時限	前期 火曜4限	教室名	第4校舎401
担 当 教 員	小川れい	実務経験と その関連資格	総合病院にて失語症等のコミュニケーション障害に対する言語聴覚療法業務に従事			
《授業科目における学習内容》						
言語聴覚療法を遂行するために必要なコミュニケーション技術の基礎を学ぶ。						
《成績評価の方法と基準》						
学期末試験(筆記)において60%以上の得点をもって合格とする。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
資料配布 パワーポイント						
《授業外における学習方法》						
学習した内容を復習し、学生同士で意見交換する。						
《履修に当たっての留意点》						
言語聴覚士にとって「コミュニケーションとは何か」を考え、知ることは非常に大切なことです。 クラスメイトや失語症の方々との実際のコミュニケーションを通して、一緒に学んでいきましょう。						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義 演習 形式	授業を 通じての 到達目標	様々なコミュニケーション手段について理解する。	資料配布 パワーポイント		
		各コマに おける 授業予定	グループワークで「コミュニケーションとは何か」を具体的に考える。			
第2回	講義 形式	授業を 通じての 到達目標	失語症(理解面)について理解し、説明できる。	資料配布 パワーポイント	配布資料を見直す	
		各コマに おける 授業予定	失語症の概要を知る。			
第3回	講義 形式	授業を 通じての 到達目標	失語症(表出面)について理解し、説明できる。	資料配布 パワーポイント	配布資料を見直す	
		各コマに おける 授業予定	失語症の概要を知る。			
第4回	講義 形式	授業を 通じての 到達目標	失語症の方とのコミュニケーション方法を理解する。	資料配布 パワーポイント	配布資料を見直す	
		各コマに おける 授業予定	DVDを見て、失語症の方への良い対応、良くない対応を考える。			
第5回	講義 形式	授業を 通じての 到達目標	失語症の方との具体的なコミュニケーションの方法を理解する。	資料配布 パワーポイント	配布資料を見直す	
		各コマに おける 授業予定	失語症から起こる様々な問題、関わる際の心構えについて考える。様々な手段や道具の活用、確認の方法を考える。			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	実習形式	授業を通じての到達目標	失語症の方とコミュニケーションがとれるようになる。	資料配布 パワーポイント	配布資料を見直す
		各コマにおける授業予定	対話会:失語症の方へ検討したコミュニケーション方法を実践する。		
第7回	実習形式	授業を通じての到達目標	失語症の方とコミュニケーションがとれるようになる。	資料配布 パワーポイント	配布資料を見直す
		各コマにおける授業予定	対話会:失語症の方へ検討したコミュニケーション方法を実践する。		
第8回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	対話会を終えて、改めてコミュニケーションに必要なことを考える。	資料配布 パワーポイント	配布資料を見直す
		各コマにおける授業予定	対話会を個人、グループで振り返る。		
第9回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第10回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第11回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第12回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第13回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第14回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第15回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			